

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 644 号	氏名	水本 憲治
学位審査委員	主 査 橋爪 真弘 副 査 中込 治 副 査 本田 純久		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、2009 年の新型インフルエンザ(A/H1N1)流行時に実施された抗インフルエンザウイルス薬の予防内服の効果を分析し、公衆衛生対策としての有効性を評価しようとするもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 系統的レビューにとどまらず、その結果を補完する目的で数理モデルを用いて予防内服・接触者追跡調査等の効果を分析・解析しており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 予防内服による二次感染割合の抑制効果は、系統的レビュー及びモデルの両方において、おおよそ 90%以上という結果を得ている。これらの結果は、予防内服及び接触者追跡調査が、封じ込め時期において有用であることを明らかにしており、今後の実践的応用が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は感染症疫学・政策研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			